

(付録)『歴代寶案』校訂本 第二冊(活字本)

参照資料一覧

凡例

一、この参照資料一覧は『歴代寶案』校訂本第二冊(活字本)において頭注に掲示した参照資料等を文書番号(例えば一―二三―〇一は第一集第二三巻の第一号文書を示す)順に明記したものである。

一、ここで取り上げる資料とその略称は次のとおりである。

鄭良弼旧蔵筆写本全二〇冊(法政大学沖繩文化研究所蔵) 鄭

朝鮮王朝実録(京城帝国大学影印本) 李

※右の資料の縮刷版として『李朝実録』(学習院東洋文化

研究所刊)がある。

撰修廳編『事大文軌』 事

*前掲の『朝鮮王朝実録』『事大文軌』中の関連資料は『朝

鮮王朝実録 琉球史料集成【原文篇】』(榕樹書林二〇〇五

年)に活字化して収録。

一―二九―一八 鄭(第一冊)

一―三九―〇二 李(世宗十三年「宣徳六」十二月丁酉の条)

〇六 李(世祖十三年「成化四」八月庚戌の条)

一八 鄭(第一冊)

一九 事(回答「卷三十五」)

二〇 事(回答「卷四十七」)

李(宣祖修正実録 宣祖三十九年「万曆三十四」四月)

李(宣祖三十九年「万曆三十四」六月庚戌の条)

一―四〇―一〇 李(世宗十三年「宣徳六」十一月庚午の条)